



国立研究開発法人
土木研究所 寒地土木研究所
北海道札幌市豊平区平岸 1 条 3 丁目 1-34
TEL : 011-590-4044
E-mail : scenic@ceri.go.jp

景観まちづくりにおける 無電柱化の事業効果に関する事例分析

岩田 圭佑 / 松田 泰明 / 蒲澤 英範 / 吉田 智

1. 背景と目的

これまで、景観を生かした観光や地域振興などのまちづくりを目的として、無電柱化事業が多く実施されてきた。昨今、無電柱化推進の機運が高まる中、これまでの事例をレビューし、景観まちづくりにおける無電柱化の景観向上効果や、まちづくりへの波及効果を整理することは、今後の無電柱化事業が実施されるうえで有意義な知見と考える。

本研究では、市街地や農村自然域を対象として、景観まちづくりを主たる目的とした国内の無電柱化事業50事例を抽出し、無電柱化の事業スケールごとに分類した。また、現地調査等により、それらの事例における景観向上効果やまちづくりへの波及効果について基礎的な分析を行った。

国や地方公共団体による無電柱化政策や施策の多様化

電線共同溝事業に代表される無電柱化事業が実施されてきた市街地や歴史的街並。

東京オリンピックの開催や、世界遺産登録等の、各地における文化的な取り組みにおいては、狭路道路や観光地、農村自然域においても、無電柱化へのニーズが増すものと考えられる。

2. 無電柱化を推進する上での課題

1. 景観まちづくりにおける無電柱化の計画・実施手法が把握されていない

今後、「無電柱化推進法案」などにに基づき、各地方公共団体等による無電柱化推進計画の策定が期待される。まちづくりに無電柱化をどのような構想やスケールで位置づけ、計画・実施するかを把握する必要がある。

2. 道路空間創出における無電柱化の効果が把握されていない

無電柱化の整備効果を踏まえて整備エリアや路線を計画するために、事業効果を把握する必要がある。特に、「防災」や「安心安全」だけでなく、景観まちづくりの観点から事業効果を把握することは、他の整備やまちづくり活動と関連させ、より良い道路空間を創出する上で重要である。

3. 学術的な調査研究も求められている

これまで無電柱化の対象となりにくかったところでも、事業効果を認識できれば取り組みやすい。



無電柱化事業の計画・効果・実施手法に関する調査研究の必要性が議論された。



自治体の費用負担が大きく無電柱化がすすまない街並み。



無電柱化されていた官舎跡地の不動産開発。電線電柱があり、車の往来も少ない。



ビューポイント周辺で無電柱化を実施したが、近辺に新規の移住者等があった際の電線類が架空で配線された。

3. 研究手法

無電柱化の効果と本研究の調査対象

	安心・安全	防災	景観	観光	まちづくり
市街地	✓	✓	✓	✓	✓
歴史的街並 観光地	✓	✓	✓	✓	✓
住宅地	✓	✓	✓	✓	✓
農村部	✓	✓	✓	✓	✓

調査対象

市街地の中心部や幹線道路では、電線共同溝事業の主な対象地として、安心安全や防災の観点から無電柱化を実施。

歴史的街並みなど観光客が多く訪れる地域では、景観面の効果も含め総合的な観点から、電線共同溝事業や自治体等のまちづくり事業として無電柱化実施。

住宅地では、不動産開発における民間投資の無電柱化事例もみられるほか、安心安全や防災の観点からの無電柱化の事例が見られるが、事例は少ない。

農村・自然域における無電柱化は、電線共同溝や不動産開発の対象となりやすく、世界遺産など文化的価値の極めて高い地区など、ごく少数の事例にとどまる。

調査手法

● 全国の「景観まちづくり」無電柱化事例を調査

- 各種表彰事例の調査 (都市景観大賞、土木学会デザイン賞等)
- 文献調査 (主に歴史まちづくりや地域活性化に関する学術論文や雑誌記事)
- インターネットによるキーワード検索 (「自治体名」×「景観」×「無電柱化、地中化」等)

約600の無電柱化事業を抽出

- 無電柱化の根拠となる各種計画やアクションプラン
- 事業効果を把握するための基本情報 (対象地、路線延長、工期等)
- 対象地の多様性

50事例について分析

- 無電柱化事業のスケールごとに、「エリア」、「ルート」、「スポット」に分類

無電柱化事業スケールの分類結果

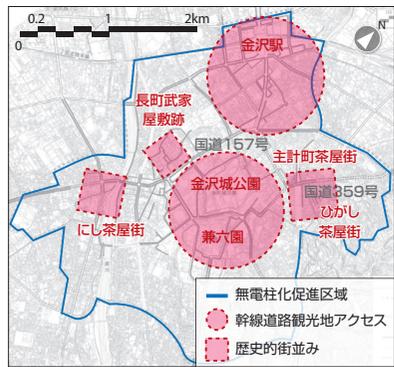
- 地域スケール**
無電柱化計画等に基づく景観まちづくりの地域内の優先度や、総合的な視点で市内の優先度を検討している事例
- 面的スケール**
商店街や温泉街など、周辺事業と併せて実施することで、まちあるきなど回遊性を生むための事例
- 線的スケール**
門前町や参道、街道など、明確な道のシークエンスをいかに事例
- 点的スケール**
重要な建造物などの視対象の眺めをいかに事例
- 面的スケール**
ある視点場やルートからの広域的な眺めを改善するための事例
- 線的スケール**
市街地と観光地を結び重要な路線や、重要なシークエンスをいかに事例
- 点的スケール**
ビューポイントなど、ある視点場からの眺めを改善する事例

4. 事例調査

調査によって得られたスケール分類毎に、具体的な事例調査を行った。

1. 地域スケール

石川県金沢市 歴史的風致維持向上施設の整備



金沢城公園や兼六園を中心として、3km四方程度の「無電柱化促進区域」を設定



にし茶屋街
茶屋街などの歴史的街並みエリアでは、無電柱化済み、もしくは重点的に無電柱化予定。

国道359号
国道や駅などの幹線道路、観光地中心部などへのアクセス道路はすでに多くが地中化。

武家屋敷跡
武家屋敷周辺など、狭路道路においても電線地中化が行われている。

2. 面的スケール

青森県弘前市 歴史的風致維持向上施設の整備



弘前公園を核として、2~3km四方程度の歴史的風致維持重点区域を設定。



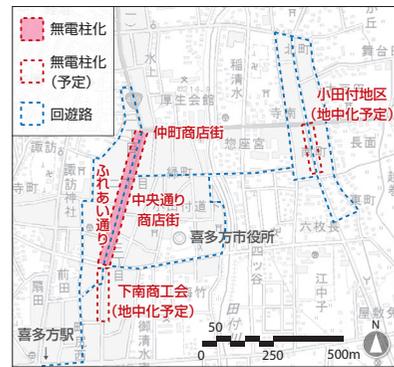
馬喰町他地内伝建地区
景観阻害、幅員が狭路で電柱が輻輳していることによる車両及び歩行者の通行障害、冬の除雪障害の解決を狙った伝建地区の無電柱化

弘前長崎ヶ沢線
ねぶた運行のメインの場所であり、沿道には旧第五十九銀行本店本館等、趣のある建物が並ぶ地区の無電柱化。ねぶた運行時の回遊性向上や沿道景観向上が狙い。

白銀町新寺町線
弘前公園と禅林街を結び、古くからの門前町の無電柱化。周辺の事業と併せた回遊性向上や沿道景観向上が狙い。

3. 線的スケール

福島県喜多方市 商店街における街並み整備



ふれあい通りの約500m区間において無電柱化を実施済み。

1km四方程度のエリアにある2つの商店街を往來する回遊型まちづくり「くらはく」への展開。



ふれあい通り
商店街の集客と周辺への波及効果を目的とした街並み整備。電線地中化に加えてアーケードを撤去したことで、蔵の街並みがよみがえり修景事業につながった事例。

商店街周辺
商店街から入った中道でも、蔵が飲食店や工房として再活用され、来訪者の回遊性が高まり、地域性がふられる景観が創出されている。

4. 点的スケール

山梨県忍野村 世界遺産構成資産の景観づくりと回遊性向上



忍野八海を中心とした800m四方のなかで、50の景観改修を実施。

忍野八海や、新名庄川、土産物店を巡る回遊ルートの中で、視点場やルートの無電柱化を実施



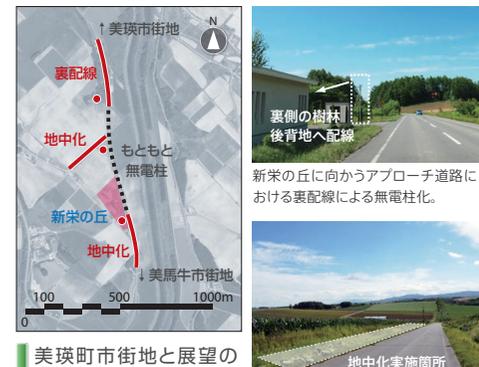
回遊ルート上にある主要な視点場や土産物店の景観向上。電線は裏側に配線している。庇の茶系塗装などの街並み雰囲気づくりと相まって、のんびりと落ち着いた風情のまちあるきを演出。

(左) 来訪者が多く通る良好な視点場で、電線類が良好な眺望を遮らないように電柱を移設。県の費用負担(街並み環境整備事業)で実施。

(右) 来訪者が多く通る良好な視点場で、電線類が良好な眺望を遮る。

5. 面的スケール

北海道美瑛町 農村・自然域における電線電柱類の景観対策



美瑛町市街地と展望の丘を結び周辺道路

丘からの眺望や周辺からの眺めを改善するため無電柱化を実施

新米の丘に向かうアプローチ道路における裏配線による無電柱化。



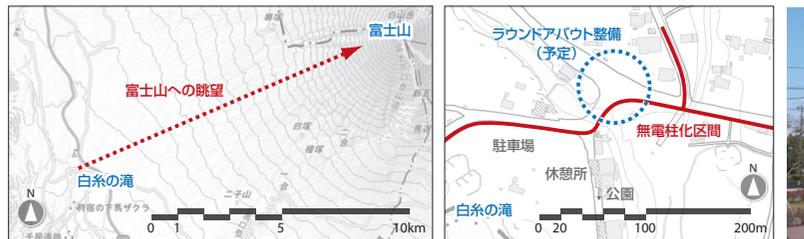
裏側の樹林後背地へ配線

新米の丘から眺められる道路の無電柱化。

地中化実施箇所

7. 点的スケール

静岡県富士宮市 白糸の滝周辺施設から富士山への眺望を改善



他事業とあわせ富士山の眺望景観を向上する



白糸の滝駐車場から富士山の眺め。無電柱化とあわせてラウンドアバウト整備も実施予定。

5. まとめ

- 景観まちづくりの観点から実施されている無電柱化事業から50事例を抽出し、7つの事業スケールに分類した。
- 無電柱化事業によって、象徴的な景観を取り戻す、あるいは創出するとともに、それらが沿道住民の愛着醸成、テナントの増加、観光客の回遊性増加など、まちづくりへ与える波及効果もみられる。これらの効果がどのように発現するかは、事業のスケールや経過年数により異なる。

今後に向けて

今後は、各事例の詳細な調査を行う予定である。

- ・対象とする景観向上効果の類型化および評価
- ・時間的・空間的なまちづくりへの波及効果の分析